

令和5年度第2回観光振興基金検討委員会における委員意見への対応

資料5

事業名	No	主な意見	対応区分	検討状況	担当課
那覇空港観光2次交通対策事業 (新規)	1	閑散期においては北バスプールのおよそ半分をレンタカー待機場所として提供している。今回の事業では中央バスプールを提案しているが、中央バスプールは貸し切りバスの待機場所として有益であるため、既に提供している北バスプールで実証を行ってほしい。	①委員意見を踏まえ修正	・繁忙期のレンタカーの待機場所等については、北側バスプールで実施することで、大阪航空局と調整していくこととしたい。	観光振興課
	2	目的地までの路線や運賃がわかるアプリなどがあれば旅マエから検索することが出来て分かりやすい。通常の市内外路線などへの展開もできるので、県のDX推進という観点からも、そういう仕組みづくりをしてはどうか。	②既存の事業内容に含まれる	・交通政策課の支援により、乗り物Naviのほか、ロケーションシステムが構築されている。  ・また、観光振興課として、観光客の公共交通の利用促進及び利便性向上を図るため、公共交通機関の運行ダイヤ、運賃等をオープンデータとして整理し、観光客が利用するGoogleマップのほか、Yahoo/駅すばあと、ジョルダン、NAVITIMEなど、主要な交通・乗り換えアプリで利用して頂いている。	観光振興課
	3	タクシーにおける支払方法について、キャッシュレス化及び対応可能な支払方法を分かりやすく表示するための取組を盛り込んでほしい。	④その他	・タクシーを所管している交通政策課や沖縄県ハイヤー・タクシー協会と連携し、わかりやすい表示方法について周知していきたい。	観光振興課
災害時観光客避難支援事業 (新規)	4	災害規模は予測できないものなので、ゆとりをもって支援するために予算は多めに確保したほうがよい。	③検討中	本事業の対象となる市町村と協定を締結できるホテルの数や災害救助法の適用を受けない災害の情勢等を勘案しながら予算規模を見極めたい。	観光振興課
	5	利用客目線で、どのような場合にどのような対応をするのかというのを分かりやすく整理してほしい。市町村ごとに対応が異なったり、避難してきたタイミングで補填の有無が生じたりすることがあれば不満にも繋がると思う。現場の人がきちんと説明できるよう、事前準備の段階で検討してほしい。	③検討中	市町村やホテル等と意見交換を行いながら条件整備を行っているところであり、頂いた意見も踏まえながら円滑なオペレーションができるようなスキームにしていきたい。	観光振興課
観光人材受入等支援事業 (新規)	6	外国人が簡単に住めるような環境づくりのため、保証協会や全保連とタイアップして外国人向けの保証サービスを拡充してほしい。	③検討中	県では、事業主に対し、住環境を含む生活支援をはじめ雇用管理等に関する情報提供を行うため、相談窓口を設置して対応しているところです。今後、保証協会や全保連などの関係機関とも意見交換しながら、外国人労働者の受入れ環境の整備について検討してまいります。	観光振興課

令和5年度第2回観光振興基金検討委員会における委員意見への対応

資料5

事業名	No	主な意見	対応区分	検討状況	担当課
世界自然遺産地域活動支援事業 (新規)	7	自然環境への負荷については、観光資源でどのくらい利用するのかということとの関連が大きなポイントであり、それを解決するためには、ガイドの育成が最大の解決策になりうると考える。 海外のガイドは、知識だけでなくポリシーを持って仕事をしているので、県でもそのようなガイド育成に取り組んでほしい。	②既存の事業内容に含まれる	【自然保護課】本事業は、知識やポリシーの習得を含むガイドの育成に関する取組にも支援していけると考えている。	自然保護課
			②既存の事業内容に含まれる	【観光振興課】通訳案内士などのガイドを含む観光事業者を対象に、セミナー等を通じて、観光人材のスキル向上に資する取組を実施している。その中で、自然環境等をテーマにしたセミナーも実施もしている。引き続き、セミナー等によるガイド人材の育成について検討していく。	観光振興課
	8	民間事業者が集まって世界自然遺産地域の保全に取り組もうというムードができていますので、県もこれに協力する形で取り組めないか。	②既存の事業内容に含まれる	本事業は、民間団体等が主体的に取り組む世界自然遺産の保全活動や魅力ある世界自然遺産地域の周知啓発、人材育成、観光客へのPRなどに対して支援していきたいと考えている。	自然保護課
	9	世界自然遺産基金とどのように連携していけるのか、もしくは統合できるのかなどを今後検討してほしい。	②既存の事業内容に含まれる	本事業は、民間団体等が主体的に取り組む世界自然遺産の保全活動や魅力ある世界自然遺産地域の周知啓発、人材育成、観光客へのPRなどに対して支援していきたいと考えている。	自然保護課
観光2次交通結節点機能強化事業 (継続)	10	いろいろな事業が様々な主体によって実施されており、各事業での申請や検査対応など現場の市民団体にとっては結構負担となる。申請様式や検査時の証憑書類について行政機関の内部である程度整理しておき、申請の段階からエビデンスの提出まで伴走型という形での支援を検討してほしい。	③検討中	いただいたご意見を踏まえて、他の行政機関の書類等を参考にしながら申請書や実績報告書などの書類等について検討していきたい。	自然保護課
	11	レンタカー利用者を結節点に無料で送迎する場合、路線バスに影響が出るのでバス協会と相談してほしい。	④その他	・基金事業とは別の事業において実施を検討している那覇空港ー北谷美浜地区までのバス等の実証運行（運行委託）については、有償旅客を想定している。  ・なお、当該事業の実施に当たっては、バス協会と連携のうえ、実施方法等を検討していくこととしたい。	観光振興課

令和5年度第2回観光振興基金検討委員会における委員意見への対応

資料5

事業名	No	主な意見	対応区分	検討状況	担当課
観光2次交通結節点機能強化事業（継続）	12	北谷町内にはレンタカー事業者が2事業者あったかと思うが、結節点からはこの2事業者向けに周遊して利用者を運ぶのか。	②既存の事業内容に含まれる	・基金事業のうち、交通広場から運行を予定している小型のバス等の周遊については、レンタカー事業者の営業所のみならず、ホテル等への周遊も予定している。	観光振興課
マリンレジャー事故防止事業（継続）	13	外国人客向けに多言語化や安全対策など、どのような取組を考えているのか。	②既存の事業内容に含まれる	外国人観光客への周知については、既に多言語化した海の安全啓発ツール（ハザードマップ、パンフレット及びリーフレット、動画等）を活用して周知強化を図る。	観光振興課
	14	ハワイからプロのライフガードを招へいするとあったが、どのように安全安心を周知するのか。	③検討中	水難事故が多いエリアでの適切な安全指導方法と効果的な救助手法を確立していく。また、沖縄のライフセーバー等の人材育成に繋げていくことで、受入体制の強化を図る。	観光振興課
	15	ビーチでの声掛けについて、今年度は本島エリアより八重山エリアの方で多く声掛けを行っていたようだが、次年度はどのように計画しているか。	②既存の事業内容に含まれる	今年度は夏場シーズン7月～8月に実施したところ。次年度は観光シーズンのみではなく通年で実施する。また、令和5年の水難事故のうち事業者における大規模事故が多発したことから事業者への水難事故防止対策におけるスキルアップ講習等を実施する予定。	観光振興課
	16	外国人の方はYouTubeなどでビーチの動画を視聴することが多いので、多言語化した動画で注意喚起してもよいのではと思う。	②既存の事業内容に含まれる	現在、YouTubeにて多言語の安全啓発動画を配信しているところ。次年度も引き続き、外国人観光客を含めた観光客等にわかりやすい安全啓発を行っていく。	観光振興課
	17	ハワイなどマリンレジャー先進地が、レジャー客に対して安全安心をどのように確保しているのかを事業の中でしっかり検討してほしい。	②既存の事業内容に含まれる	ハワイではビーチ等を監視するプロガードの体制が確立されていることから、次年度はプロガードを招聘し安全指導及び人材育成等に取り組むこととしている。	観光振興課
	18	川や滝に関しても、危険性を周知するなどの対策を考えてほしい。	③検討中	マリンレジャー事業者等との圏域別意見交換会を実施する予定であり、どの機関がどう対応しているのか等事業者の意見を踏まえながら検討していく。	観光振興課

令和5年度第2回観光振興基金検討委員会における委員意見への対応

資料5

事業名	No	主な意見	対応区分	検討状況	担当課
MICE受入体制強化等事業（継続）	19	MICE需要を取り込むために、他県も含めた地域間で情報共有をしあえるような広域連携のような取組も必要ではないか。	④その他	<p>広域連携については、戦略的MICE誘致促進事業で対応しており、以下のとおり東京都等と連携して情報共有・連携を図り、MICE誘致と受入体制の構築等に努めています。</p> <p>○都市間連携によるMICE誘致の推進に係る基本協定 東京都と沖縄県及び（公財）東京観光財団と（一財）沖縄観光コンベンションビューローで協定を結び、連携して招聘ツアー・キーパーソン招聘等、海外での共同プロモーションを実施している。</p> <p>○九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会（※参考） 九州・沖縄のコンベンションビューローが会員となっており、毎年度複数回の連絡会と東京での合同商談会を開催し、MICEに関する情報共有や連携推進を図っている。</p>	MICE推進課
しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業（継続）	20	ハンズオン支援に関して、芸能祭に関する支援だけでなく、通常の芸術団体や実演家に関して課題の抽出や支援を継続して行っていただきたい。	②既存の事業内容に含まれる	<p>ご指摘のとおり、芸能祭に関する支援のみではなく、担い手の不足など伝統芸能団体が抱える根本的な課題に対しても支援していくことにより、団体の組織基盤が安定化し、持続可能な文化観光コンテンツの創出が可能となるものと考えております。</p> <p>この事業では、伝統芸能団体の実態把握の調査や、ハンズオン支援を行いながら地域資源の掘り起こしを行っており、引き続き、地域資源の掘り起こしを行いながら、芸能祭を通して観光の誘客と担い手の活躍の機会創出を実現し、伝統文化の継承と観光の振興が好循環を生み出す仕組みをつくっていきたいと考えております。</p>	文化振興課
	21	芸能祭のプロデューサーに著名人を招いていると思うが、その方のネームバリューや知見により、県外・海外からの集客がどの程度だったのか、また芸能祭が質の高いエンターテイメントとなったのか、今後のためにしっかり検証してほしい。	②既存の事業内容に含まれる	<p>今年度実施の事業について、イベントの集客状況やアンケート結果の分析により事業設計を適切に評価し、次年度の事業に活かしていきたいと考えております。</p>	文化振興課
新たなアクティビティを活用したスポーツツーリズムコンテンツ創出事業（継続）	22	（支援対象事業の事業実施期間が）年度で区切られている部分はあると思うが、数か月間で事業化していくのは難しいところもあると思うので、継続して支援していくスタイルも考案していければと思う。	④その他	<p>観光振興基金を活用した事業については、より早期に効果を実感していただけるよう事業に取り組んでおります。このため、本事業における支援コンテンツの採択にあたっては、企画段階にあるものではなく、既に一定程度の商品化の目途があるものに対して支援をしていくこととしております。</p> <p>次年度以降の取り組みについては、事業初年度である今年度の事業成果等を確認した上で、必要に応じて対応を検討してまいりたいと考えております。</p>	スポーツ振興課

令和5年度第2回観光振興基金検討委員会における委員意見への対応

資料5

事業名	No	主な意見	対応区分	検討状況	担当課
その他ご意見	23	オーバーツーリズムに対する地元住民の懸念が大きい。本島ではタクシーが捕まらず、離島では外食ができない状況。いろいろな事業を進めるなかで、地元住民への配慮や生活の保障が必要である。	④その他	今年度で実施しているサステナブルツーリズム推進事業において、各地域における観光諸問題等を調査しており、その結果を基に課題の洗い出しをした上でそのエリアを管理している観光協会等に支援することとしたい。	観光振興課
	24	ライドシェアについて、現在は県民がタクシーに乗れない状況であり、高齢化もあって求人もなかなか集まらない。県として、ライドシェアをやるやらないは別として、調査はする必要があると思う。	④その他	ライドシェアについては、タクシーの運転手不足を背景に、地域住民や観光客の移動ニーズを確保する代替手段として、全国的な議論になっております。 一方で、一般ドライバーの運転技術や利用者の防犯等を不安視する意見があることも承知しております。 このため県では、タクシー業界がどのような形態のライドシェアを望むのか、利用者のセキュリティをどのように確保するのか等、沖縄県ハイヤー・タクシー協会と意見交換しながら研究を進めているところです。	交通政策課
	25	2026年問題について言及があったが、首里城周辺の交通対策だけでなく、首里城を活用してどのように沖縄文化の魅力を発信するかということも検討が必要である。	④その他	首里城は、琉球王国の歴史、まさしく世界を結ぶ架け橋「万国津梁」として独自の文化を築いてきた歴史そのものであることから、首里城復興と連動して沖縄の伝統文化を国内外へ発信することにより、観光振興に繋げていきたいと考えております。	文化振興課
	26	ホエールウォッチングに関するルール作りをしてほしいという要望もあるので、検討をお願いしたい。	③検討中	マリンレジャー事業者等との圏域別意見交換会を実施する予定であり、事業者の意見を踏まえながら検討していく。	観光振興課
	27	観光庁のオーバーツーリズム対策事業は実証事業などの条件等がかなり厳しいと聞いている。基金活用事業とリンクして、サステナブルツーリズム事業のなかで予めモデル地域を選定しておくなど、観光庁の事業と連動できるような仕組みを考えてほしい。	③検討中	観光庁の「オーバーツーリズム未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」にエントリー予定であり、効果的な手法を確立するため実証事業のスキームで取り組むこととしたい。	観光振興課
	28	個々の事業の効果検証のみならず、基金全体の姿が見えるように整理するよう検討してほしい。	③検討中	基金を活用した事業については、毎年度5月頃に効果検証を行っているところであり、個々の事業の効果検証と合わせて、基金全体の姿を整理できるよう検討したい。	観光政策課